



## 第4回市民講座 今、『教育』はどうなっているの？ ——教育について考える——



10月29日（日）、講師に埼玉大学教育学部教授の坂西友秀先生をお迎えして、市民講座を開催しました。今の教育がおかれている状況についてお話を伺うことができました。

### § 外国籍の子どもの増加

外国籍の子どもの増加は、各国共通の現象です。現在進行形で起こっていることなので、対応は現場でしなければなりません。フィンランドでは、教室に子どもたちの出身国の国旗を掲示して互いの理解を助けたり、言葉が通じないことを補うために絵などを使って工夫をしているそうです。7～8割が外国の子どもという実態が続いており大きなスケールで変化が起きているということでした。

### § 不登校

不登校は教育の基盤を揺るがす問題です。子どもたちは学校をってから

社会に出るといいう仕組みになっているので、この問題は社会に大きな影響をもたらします。不登校の子どもは健康状態の把握もままなりません。

また、周囲にうまく適応できない子どもたちも増えています。発達障害が増えてきているということを文科省も認めるようになり、個に応じて教育を行うという方針になってきているそうです。そのためには多様な子どもが一緒にいることはいいことだという理解が社会に認められることが必要です。教員も増やさなければ出来ません。教育予算の裏づけが必要になります。手厚い対応が実現されることが期待されます。

### § 道徳教育の教科化の問題点

道徳の教科化について、一番を考えなければならないことは、道徳の目標を誰が決めるのかという問題です。これが教科書の問題、評価の問題と直接つながってきます。道徳は、内心・思想・宗教の自由にかかわることです。人間性と言い換えることができます。

戦争中の修身教育の反省もあって、これまでは道徳教育はすべての教科の

学習を通じて行うとして、教科化すべきではないとしてきました。

18歳から選挙権が認められたこととかかわって高校生の政治活動が注目されています。学校の許可を得なければならないとか、休日に限って認めるなどの対応が出てきていますが、この対応には、本人が力をつけて自分の生活を切り開いていくという観点が抜けてしまっています。道徳は人間が人間としてまっとうに生きていくためのも

のです。

## § 大学の変化

そのほか大学に起こっていることとして、教授会が連絡機関化していることや、競争・評価が導入され、即、現場で役に立つことを要求されるなど、すごいスピードで変化していていることも指摘されました。義務教育でも同じようなことが十数年前から起こっています。深く検討する必要がある問題です。

### 第4回桜区市民講座に参加して

埼玉大学教育学部の坂西教授の講座に参加しました。とても気さくな先生で大変楽しい時間を過ごせました。欲を言えば、もう少し時間が欲しかったです。

これから学校の先生になろうとする学生さんを教える立場にある先生の話から、生の教育の現場を垣間見ることができました。教育実習中に行方不明となった実習生を探し回ったとか、苦勞も多いようですね。

子どもの不登校（過去10年で最多の13万4千人超）、子どもの多様化・「発達障害」、いじめの問題。フィンランドでは、不登校対策として「インターシップ」という制度があるそうです。自転車が好きなお生徒が働く自転車店を紹介していました。ここでは、「工作」の単位がもらえたり、料理を作れば、「家庭科」の単位がもらえたりとか。もちろん学校へ行くことは必要なことですが、学校以外であっても「教育」に向き合っている姿勢に、こんな方法もあるのだなと感動しました。

<道徳>が「教科に格上げ」になるという話。（中教審が答申）

「教科」となれば、「教科書」、「目標」、「評価」とかが設定されて、その内容を”誰”が作るのかによっては大変なこととなるようです。「道徳の教科書に載っていることが当たり前」の世界になってしまうからです。

普段はめったに聞けない「教育」の講座でしたが、難しいこともなく、参加して良かったです。坂西先生、ありがとうございました。（米倉さん）

## ◎11月26日（日）に第2回総会を行いました

桜区平和を考える会は、名前の表しているように桜区に根ざした活動を進めることを目標としています。今総会では、この点を踏まえて「桜区の住民に働きかける活動」「地域の自治体、議会に働きかける活動」に力をいれていくことを決定しました。

また、運動が広がっていくために、会員の拡大を図りながら会員の学習を通じて連帯を深めていきます。

改憲の動きがさらに強まっていく危険があることを踏まえて、改憲反対、安保法制・共謀罪の廃止の運動を広めていきます。原発再稼働の動きや、軍備強化の動きに対して、脱原発、福島原発事故による放射能汚染の恐ろしい現状についての認識、軍事基地強化反対などの世論を高める活動を推進していきます。

また、教育・医療・介護・労働・年金などについて住民の意識・関心に即したテーマを取り上げて問題意識を共有するように努力していくこととしました。

以上のような活動方針のもと皆さんとともに1年間活動を進めていきたいと思えます。



## ◎福島原発事故の今を考える——2017年11月

福島原発事故はチェルノブイリ事故を遥かに超えるものです。国際原子力事象評価尺度の最上限7（チェルノブイリ）では足りず、10とすべきである、というのが海外の専門家たちの見方です。現在も、溶融して地下に潜り一定の間隔で再臨界に達している核燃料が原発建屋の内外から、絶え間なく放射能をまき散らしています。東電は最近、建屋内の高線量のため廃炉作業開始を3年延期しました。また、傷だらけになっている排気塔は、M7程度以上の地震に見舞われると恐らく破断・倒壊してしまいます。それが、原子炉建屋に倒れ込めば、被害は地球全体に及ぶ危険があります。

現在の放射能の汚染状況は、さいたま市桜区でも2年前の2倍（ $0.13\mu\text{Sv}$ ）に達しています。先日とちおとめイチゴジャム（栃木産）を測定したところ  $9.5\text{Bq/kg}$  の放射能が検出されました。福島・信越・東日本は言うに及ばず、ハワイにも福島からの放射能雲に覆われて、地表に降り注いだ放射能は総計  $1.5$ 兆ベクレルに達し、魚類のほとんどが汚染されているということです（ENEニュース）。

被爆の影響で、鼻血や児童の成長停

止（中2で身長が1cm/年も伸びない）、児童白内障、若年層まで含む突然死など様々な被爆症が首都圏にも広がっています。私たちは徹底した被爆予防対策を取るべきです。外出時はマスクを、風の日には特に湿ったガーゼを挟んだ二重マスクで外出するくらいの用心が必要です。また、汚染地域産の食べ物は極力避けるべきです。福島（東北・関東、その周辺地域まで）を「食べて応援」することは、被害者をさらに加害者に仕立ててしまうことになるでしょう。食べて応援するのではなく、本来被災者たちは憲法が保障する財産権に基づいて、十分な補償を得られるようにするべきです。

福島原発事故に対応して設立されたネットジャーナル「ENEニュース」は、団体からの寄付を一切受けることなく個人読者からの献金のみで運営されている、反原発の非営利団体です。その2017年11月14日のニュースは、自国民をだまし続ける日本の政府・東電・医者たちを論壇で告発しています。それが国際社会における常識なのです。使命を放棄した責任を追及しなければ、こうした悪行は留まることなく猛威を振るい続けることとなります。（α記）



## 切り抜き帳



### ◎辺野古反対派に国際平和賞

「ドイツベルリンに本部を置く国際平和団体『国際平和ビューロー』(IPB)は、24日、今年のショーン・マクブライト平和賞の授賞式を行い、米軍普天間飛行場の名護市への移設に反対する政党や団体で作る「オール沖縄会議」に授与した。IPBは、オール沖縄会議の活動を、長年にかけて米軍基地に反対し続けてきた「不撓不屈の非暴力闘争」と賞賛して、満場一致で決めたとした。」(東京新聞)



先日のICANのノーベル賞受賞に続くもので、日本の平和運動が世界に注目されていることが感じられます。長崎出身の英国作家カズオ・イシグロのノーベル文学賞受賞とともに私たちの誇りですね。

### 【会の活動報告】

#### 駅頭活動(改憲反対3000万人署名)

○11月15日・西浦和駅、22日・中浦和駅、29日・南与野駅

#### 市民講座

○10月29日 第4回市民講座(1面に掲載)

○11月26日 番外編「あなたにも来る裁判員通知」

#### 会議

○10月29日、11月11日、11月26日 運営スタッフ会議

○10月24日、12月6日 事務局会議

○11月26日 第2回総会

#### 請願行動

○11月22日 「オスプレイ配備中止の意見書提出を国に求める請願」  
さいたま市議会に提出

○12月8日、12月11日 さいたま市議会「総合政策委員会」傍聴



### 【会のこれからの予定】

○12月16日 運営スタッフ会議 14時～ 土合公民館

○1月 おしゃべりカフェ

(詳細がきまりましたらお知らせします)

#### 桜区平和を考える会発行

ホームページは、「桜区平和」で検索!

<http://spa.g1.xrea.com/>

連絡先: 090-8588-4966 (今井) 090-4433-7092 (小高)

090-6120-3411 (佐藤)

振込口座: ゆうちょ銀行

口座番号: 00270-8-104990

加入者名: 桜区平和を考える会

年会費: 1,000円

振込手数料はご負担ください

